

# 調査の概要

## 1 調査の目的

全国の医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的としている。

## 2 調査対象及び客体

全国の一般病院を利用する患者（外来・入院）を対象として、層化無作為抽出した一般病院を利用する患者を調査の客体とした。

ただし、外来患者については、通常の外來診療時間内に来院した患者を調査の客体とし、往診、訪問診療等を受けている在宅患者は調査対象から除いた。

## 3 調査の期日

令和2年10月20日(火)～22日(木)の3日間のうち医療施設ごとに指定した1日。

## 4 調査事項

外来患者票

診察等までの待ち時間、診察時間、来院の目的、初めて医師に診てもらったときの自覚症状、医師から受けた説明の程度、病院を選んだ理由、満足度 等

入院患者票

病院を選んだ理由、入院までの期間、医師から受けた説明の程度、今後の治療・療養の希望、退院の許可が出た場合の自宅療養の見通し、満足度 等

## 5 調査の方法

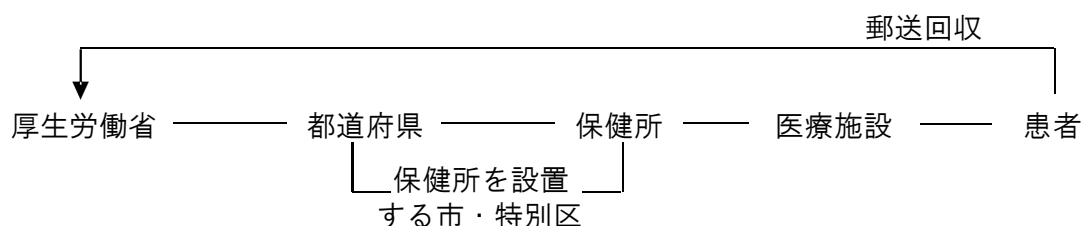
患者への調査票の配布は、外来患者票、入院患者票ともに原則的に医療施設が設置した調査票を患者が手に取る方式で行った。

記入は、原則として患者本人が記入する方式としたが、記入できない場合については、家族等が補助して記入した。

記入済みの調査票は、患者が提出用封筒に密封し、郵送で提出した。なお、患者本人による郵送提出が困難な場合は、患者本人に依頼された者等が行うことも可とした。

※ 前回（平成29年）調査まで、患者への調査票の配布は、外来患者票、入院患者票ともに医療施設において調査員が行い、患者が提出用封筒に密封した調査票を、医療施設において調査員が回収したが、令和2年調査では新型コロナウイルス感染症に係る状況を踏まえ、上記のとおり配布・回収方法を変更して調査を実施した。

## 6 調査の系統



## 7 集計及び結果の公表

集計は厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）において行った。

<p>令和2(2020)年受療行動調査(概数)の概況 数 値：概数 (病院報告(令和2年10月分概数)の外来患者延数と在院患者数を用いて全国推計を行ったもの)</p> <p>掲載内容：基本集計 (令和2(2020)年受療行動調査の調査項目のみで集計したもの)</p>	<p>令和2(2020)年受療行動調査(確定数)の概況 数 値：確定数 (令和2(2020)年医療施設(静態)調査(確定数)の外来患者延数と在院患者数及び令和2年(2020)患者調査(確定数)の外来患者、入院患者の年齢構成を用いて全国推計を行ったもの)</p> <p>掲載内容：基本集計 (令和2(2020)年受療行動調査の調査項目のみで集計したもの及び令和2(2020)年医療施設(静態)調査(確定数)とデータ・リンケージを行った上で集計したもの)</p> <p>掲載内容：関連集計 (令和2(2020)年医療施設(静態)調査(確定数)及び令和2年(2020)患者調査(確定数)とデータ・リンケージを行った上で集計したもの)</p>
---	---

## 8 表章区分

病院及び傷病分類の表章区分は以下のとおりとした。

### ◆病院

- ・ 特定機能病院……………医療法第4条の2に規定する特定機能病院として厚生労働大臣の承認を得ている病院
- ・ 大病院……………特定機能病院、療養病床を有する病院を除いた一般病院で、病床規模が500床以上の病院
- ・ 中病院……………特定機能病院、療養病床を有する病院を除いた一般病院で、病床規模が100床～499床の病院
- ・ 小病院……………特定機能病院、療養病床を有する病院を除いた一般病院で、病床規模が20床～99床の病院
- ・ 療養病床を有する病院……医療法第7条第2項第4号に規定する病院の病床であって、主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させるための病床を有する病院

### ◆傷病分類

本調査における傷病は、世界保健機関(WHO)の「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」(ICD)に基づいて定められた「疾病、傷害及び死因の統計分類(ICD-10(2013年版)準拠)」を適用して分類している。なお、「新型コロナウイルス感染症」は「疾病、傷害及び死因の統計分類」第XXII章(特殊目的用コード)に含まれる。

## 9 調査実施施設数及び有効回答数の状況

調査実施施設数及び有効回答数の状況は次のとおりであった。

### ◆調査票配布数、回収数、有効回答数

	調査票配布数 (A)	回収数 (B)	回収率(%) (B)/(A)	有効回答数
総 数	159,524	106,929	67.0	105,648
外 来	103,878	65,533	63.1	64,981
入 院	55,646	41,396	74.4	40,667

◆病院の種類別調査実施施設数、有効回答数

	施設数	有効回答数	外来	
			外来	入院
総 数	484	105,648	64,981	40,667
特 定 機 能 病 院	35	24,297	12,929	11,368
大 病 院	66	33,758	20,652	13,106
中 病 院	143	29,548	19,720	9,828
小 病 院	122	8,860	6,519	2,341
療養病床を有する病院	118	9,185	5,161	4,024

## 10 集計客体数

集計客体数は次のとおりであった。

なお、基本集計・関連集計ともに、集計に用いる調査票情報には、令和2(2020)年医療施設(静態)調査(確定数)とのデータ・リンケージを行っている。関連集計に用いる調査票情報には、さらに令和2年(2020)患者調査(確定数)とのデータ・リンケージを行っており、これが可能であった調査票情報を集計客体としている。

	基本集計	関連集計
総 数	105,648	35,817
外 来	64,981	21,391
入 院	40,667	14,426

## 11 利用上の注意

- (1) 計数の無い場合は「 - 」で表している。
- (2) 表章すべき最下位の桁の1に達しない場合は「0.0」で表している。
- (3) 概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数と一致しない場合がある。
- (4) **追加**と記載のある図表は、本概況において、「令和2(2020)年受療行動調査(概数)の概況」から新たに追加掲載したものである。
- (5) 基本集計と関連集計では、同様の表章項目がある場合でも客体数の違いにより、同じ数値にならない。
- (6) 平成23年は、東日本大震災の影響により、岩手県、宮城県及び福島県については調査を実施しておらず、数値はこれら3県分を除いたものとなっている。
- (7) 令和2年調査では新型コロナウイルス感染症に係る状況を踏まえ、配布・回収方法を変更して調査を実施した。(P.1「調査の概要」5参照)そのため、調査結果の年次比較には留意が必要である。